

科目名		作業療法海外セミナー			授業の種類	演習	講師名		
授業回数	15回	時間数	30時間	(1単位)	記当学年・時期	作業療法士科3年		必修・選択	必修

〔授業の目的・ねらい〕

日本では経験できない国際的な体験を積み、国際的な視点を身につけることが主眼である。特に、ラトローブ大学(オーストラリア)での先進的な作業療法教育の場であり、そこでは学部生と同じく解剖学実習を体験する。また、機会があれば、福祉の先進地であるオーストラリアにおいて福祉現場の視察を行い、国際的な比較を行うことを経験する。

〔授業全体の内容の概要〕

海外研修でいろいろな体験を通して専門的な知識・技術および異文化を学び視野をひろげる。

〔講師の実務経験〕

兵庫県立のじぎく療育センター、兵庫県立光風病院にて、小児作業療法、精神科作業療法に作業療法士として従事

〔授業終了時の達成課題(到達目標)〕

海外研修で経験したことを基に、作業療法士としての意欲や新しい課題に取り組む姿勢を育む。

回数	講義内容
1	ラトローブ大学(オーストラリア)における研修
2	ラトローブ大学(オーストラリア)における研修
3	ラトローブ大学(オーストラリア)における研修
4	ラトローブ大学(オーストラリア)における研修
5	ラトローブ大学(オーストラリア)における研修
6	ラトローブ大学(オーストラリア)における研修
7	ラトローブ大学(オーストラリア)における研修
8	ラトローブ大学(オーストラリア)における研修
9	ラトローブ大学(オーストラリア)における研修
10	ラトローブ大学(オーストラリア)における研修
11	ラトローブ大学(オーストラリア)における研修
12	ラトローブ大学(オーストラリア)における研修
13	ラトローブ大学(オーストラリア)における研修
14	ラトローブ大学(オーストラリア)における研修
15	ラトローブ大学(オーストラリア)における研修
	定期筆記試験

【 準備学習・時間外学習 】

--

【 使用テキスト 】

書籍名	著者名	出版社

【 単位認定の方法及び基準(試験やレポート評価基準など) 】

海外研修前・後のレポート課題等